

ふるさと日之影の素晴らしさを再認識（5年生宿泊学習）

2学期も残り2週間足らず、そして令和2年も20日余りとなりました。県内では、コロナ感染拡大や鳥インフルエンザの発生など、大変な日々が連日続いています。そのような中ですが、2学期の間、学校では、形態を変えたり、感染対策を行ったりしながら、運動会、音楽発表、修学旅行、秋の遠足、持久走大会、学校保健委員会、給食試食会など様々な行事を行ってきました。そして、12月3日（木）、4日（金）は、日之影町内の5年生全員参加による集団宿泊学習を行いました。今回は、この「集団宿泊学習」についてお知らせします。

「集団宿泊学習」は、県内のほとんどの学校の5年生で行われる学校行事です。「むかばき青少年自然の家」や「青島青少年自然の家」など、県の施設に宿泊して実施する学校が多いのですが、日之影町内の小学校は、町教育委員会の全面協力のもと、三校合同で日之影町内に宿泊し、町内の自然、歴史、施設、人々などについて学びます。今年は、コロナの関係で、例年と異なり、12月に日之影キャンプ場に宿泊して実施しました。

初日は、HYツアー（日之影よかとこツアー）と銘打ち、宮水小校区、高巣野小校区、日之影小校区を、それぞれの小学校の5年生案内のもと、見学して回りました。宮水小校区では、「宮水神社」と「道の駅」、高巣野小校区では、「天翔大橋」と「マロンハウス」を見学しました。そして、日之影小校区では、「苔アート」と「まちなか図書館」を本校5年生が案内しました。見学後は日之影キャンプ場で、みんなで協力してカレーを作り、日之影温泉に入り、バンガローに泊まりました。2日目は、「木育」で「バードコール（鳥笛）」を作成した後、全員で丹助岳に登りました。途中、ロープを使わないと登れない所もあり、とても大変でしたが、全員無事に山頂へ到達できました。山頂からは、日之影町内はもちろん、遠くは、阿蘇山まで望めて最高の景色でした。

今回の「集団宿泊学習」には、3つの大きな目的があります。それは、規律・協同・感謝を学ぶ事です。加えて、ふるさと日之影のよさを知る、他校の友達と交流するという目的もあります。同行していて、この、5つの目的が十分達成できたと感じまし

た。子供たちは、2日間で大きな成長を遂げたと思います。私自身も、日之影の素晴らしさを知るとともに日之影の子供たちの素晴らしさを再認識することができた2日間でした。



